私たち国立病院機構は

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために

たゆまぬ意識改革を行い、

健全な運営のもとに患者の目線に立って

懇切丁寧に医療を提供し、

質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

## 国立病院機構は 皆さんを歓迎します



独立行政法人国立病院機構 理事長 新木 一弘

国立病院機構は全国に140の病院を展開する日本最大の病院組織です。運営病床数は5万床を超え、全国の病床の約3%を占めています。 国立病院機構は、平成16年に国が直轄する国立病院・療養所から独立行政法人になり、自律性を持って効率的な運営を行ってきました。それから20年が経過し、医師・看護師をはじめすべての構成メンバーの努力により、社会の期待に応えられる方向へと力強く歩んできました。

国立病院機構は3つの大きな使命を担っています。その中心となるのは診療事業であり、患者の目線に立った安心・安全な質の高い医療を提供することです。急性期医療をはじめ、重症心身障害、神経難病や筋ジストロフィーなどの神経・筋疾患、結核などの感染症、精神疾患などのセーフティネット分野の医療では我が国における中心的役割を果たしています。さらに、災害時やCOVID-19対応では病院ネットワークを活用して医療支援を行うことも重要な任務の一つとしています。

第2の使命が教育研修です。明日の医療を担う質の高い医療人を育成することであり、その役割はきわめて重要であると考えています。特に、医師の教育・育成では、研修医の指導体制の強化にも力を入れており、最適な初期臨床研修ができる体制を用意しています。地域の中核病院として日常診療で経験する頻度の高い病態に接することができ、基本的診療能力を身につけることができます。また、セーフティネット分野の医療のように、一般の病院では経験できないような領域の医療を体験することもできます。研修医に人気の高い病院も数多くあり、機構全体として900名を超える初期臨床研修医を受け入れています。

初期研修終了後の専門研修に関しては、これまでにも独自に専修医制度(いわゆる後期臨床研修制度)を立ち上げ、研修の理念、目的、専修年限、到達目標、処遇、修了認定などを明確に示し、専修医が専門研修に専念できるよう取り組んできました。平成30年4月からは、日本専門医機構による新専門医制度運用が開始されたことに伴い、国立病院機構もこの制度の中で質の高い専門医を育成していくこととなりました。国立病院機構全体では、17の基本領域で118の基幹プログラムが日本専門医機構の認定を受け、専門医を目指す若手医師を受け入れています。

国立病院機構の第3の使命は臨床研究の推進です。そのため、臨床能力にすぐれ、明日の医療を切り開くリサーチマインドを持った医師の養成が重要と考えています。わが国では、基礎医学研究では多くの優れた成果を挙げていますが、それを実際に患者さんの元に届けるためのトランスレーショナルリサーチや薬剤・医療機器の臨床適用を目指す治験では、国際的にみてもさらに力を注ぐ必要があると指摘されています。国立病院機構では140病院のネットワークを活かした臨床研究や治験にも力を入れており、初期臨床研修の時から臨床研究にも関わっていただきたいと考えています。

これからは、わが国から世界に向けて臨床のエピデンスを発信し、新しい有効な治療法を開発していくことが大いに期待されます。初期臨床研修医から専門研修を経て高い診療能力を備えると共に、リサーチマインドを持って現場の医療に取り組む優れた臨床医となって行けるように、国立病院機構は支援をしてまいります。

意欲に燃えた若手医師の皆さんを心よりお待ちしています。

# 目次 contents

- 5 国立病院機構について
- 6 臨床研修
- 6 新専門医制度
- 7 若手医師フォーラム(国立病院総合医学会シンポジウム)
- 8 NHOフェローシップ制度
- 9 研修医・専攻医のためのコミュニケーション情報誌「NHO NEW WAVE」

165 • 国立病院機構140病院所在地一覧

都道府県	病院名	初期研修	専門研修	頁
北海道東				13
	北海道がんセンター	協	連	15
	北海道医療センター	基	基連	16
北海道	函館病院	基	連	17
	旭川医療センター	基	基連	18
	帯広病院	協	連	19
	弘前総合医療センター	基	連	20
青森県	八戸病院	協		21
	青森病院	協	連	22
	盛岡医療センター	協	連	23
<b>47</b> 0	花巻病院	協	連	24
岩手県	岩手病院	協	連	25
	釜石病院	協	基連	26
	仙台医療センター	基	基連	27
宮城県	仙台西多賀病院	協	連	28
	宮城病院	協	連	29
秋田県	あきた病院		連	30
JUTUR	山形病院	協	連	31
山形県	米沢病院	協	連	32
<b>怎</b> 自但	福島病院	協	連	33
福島県	いわき病院	協	基連	34
関東信越				35
	水戸医療センター	基	基連	37
茨城県	霞ヶ浦医療センター	基	連	38
	茨城東病院	協	連	39
栃木県	栃木医療センター	協	基連	40
	宇都宮病院	協	連	41
	高崎総合医療センター	基	基連	42
群馬県	沼田病院	協	連	43
	渋川医療センター	基	連	44
	西埼玉中央病院	基	連	45
埼玉県	埼玉病院	基	基連	46
	東埼玉病院	協	連	47
	千葉医療センター	基	基連	48
千葉県	千葉東病院	協	連	49
1 未示	下総精神医療センター	協	基連	50

協

基連

51

都道府県	病院名	初期研修	専門研修	頁
	東京医療センター	基	基連	52
±±±10	災害医療センター	基	基連	53
東京都	東京病院	協	基連	54
	村山医療センター		連	55
	横浜医療センター	基	基連	56
	久里浜医療センター	協	基連	57
神奈川県	箱根病院		連	58
	相模原病院	基	基連	59
	神奈川病院	協	連	60
	西新潟中央病院	協	連	61
新潟県	新潟病院	協	基連	62
	さいがた医療センター	協	基連	63
山梨県	甲府病院	協	連	64
	まつもと医療センター	基	基連	65
長野県	信州上田医療センター	基	連	66
	小諸高原病院	協	基連	67
東海北陸				69
富山県	富山病院			71
田山木	北陸病院	協	基連	72
	10i±/ト3iク6	ממו		12
	金沢医療センター	基	基連	73
石川周		_=_		
石川県	金沢医療センター	基	基連	73
石川県	金沢医療センター 医王病院	基協	基連連	73 74
石川県 岐阜県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院	基協	基連連	73 74 75
	金沢医療センター         医王病院         七尾病院         石川病院	協協	連連連連連連	73 74 75 76
	金沢医療センター         医王病院         七尾病院         石川病院         長良医療センター	協協	連連連連連連連連	73 74 75 76 77
岐阜県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター	基 協 基 協	連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連	73 74 75 76 77 78
岐阜県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院	基 協 協 基 協	基 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連	73 74 75 76 77 78 79
静岡県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院 静岡医療センター	基協協協基基協	基連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連	73 74 75 76 77 78 79 80
岐阜県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院 静岡医療センター	基協協基基基基	基 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連	73 74 75 76 77 78 79 80 81
静岡県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院 静岡医療センター 名古屋医療センター 東名古屋病院	基協協基基協協基基	基連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連連	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82
静岡県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院 静岡医療センター 名古屋医療センター 東名古屋病院 東尾張病院	基協協基基協協協	基 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83
静岡県愛知県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院 静岡医療センター 名古屋医療センター 東名古屋病院 東尾張病院 豊橋医療センター	基協協基基協協基基基協協基基	基 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83
静岡県	金沢医療センター 医王病院 七尾病院 石川病院 長良医療センター 静岡てんかん・神経医療センター 天竜病院 静岡医療センター 名古屋医療センター 東名古屋病院 東尾張病院 豊橋医療センター 三重病院	基協協基基協協基基協協	基 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連 連	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84

下志津病院



初期研修

専門研修

基 基幹型

基 連 基幹及び連携

協協力型

基基

協協力施設

連連

都道府県	病院名	初期研修	専門研修	頁
近畿				89
50000000000000000000000000000000000000	敦賀医療センター	協	連	91
福井県	あわら病院	協	基連	92
滋賀県	東近江総合医療センター	基	基連	93
<b></b>	紫香楽病院		連	94
	京都医療センター	基	基連	95
京都府	宇多野病院	協	基連	96
<b>宋</b>	舞鶴医療センター	基	基連	97
	南京都病院		連	98
	大阪医療センター	基	基連	99
大阪府	近畿中央呼吸器センター	協	連	100
人例外	大阪刀根山医療センター	協	連	101
	大阪南医療センター	基	基連	102
	神戸医療センター	基	基連	103
兵庫県	姫路医療センター	基	基連	104
共熚県	兵庫あおの病院		連	105
	兵庫中央病院	協	連	106
奈良県	奈良医療センター	協	連	107
示及乐	やまと精神医療センター	協	基連	108
和歌山県	南和歌山医療センター	基	連	109
和歌山宗	和歌山病院	協	連	110
中国四国				111
鳥取県	鳥取医療センター	協	連	113
后以乐	米子医療センター	基	連	114
島根県	松江医療センター	協	連	115
与似宗	浜田医療センター	基	連	116
岡山県	岡山医療センター	基	基連	117
凹山宗	南岡山医療センター	協	連	118
	呉医療センター・中国がんセンター	基	基連	119

基

基

協協

基

協

基

協

基連

連

基連

連

連

連

基連

連

120

121

122

123

124

125

126

127

福山医療センター

東広島医療センター

賀茂精神医療センター 関門医療センター

山口宇部医療センター

岩国医療センター

柳井医療センター

広島県 広島西医療センター

山口県

都道府県	病院名	初期研修	専門研修	頁
徳島県	とくしま医療センター東病院	協	連	128
芯与乐	とくしま医療センター西病院	協	連	129
香川県	高松医療センター	協	連	130
台川宗	四国こどもとおとなの医療センター	基	基連	131
愛媛県	四国がんセンター	協	基連	132
发版宗	愛媛医療センター	協	連	133
高知県	高知病院	基	連	134

高知県	高知病院	基	連	134
九州				135
	小倉医療センター	基	基連	137
	九州がんセンター		連	138
福岡県	九州医療センター	基	基連	139
旧凹木	福岡病院	協	連	140
	大牟田病院		連	141
	福岡東医療センター	基	基連	142
	佐賀病院	基	連	143
佐賀県	肥前精神医療センター	協	基連	144
匹貝乐	東佐賀病院	協		145
	嬉野医療センター	基	連	146
	長崎病院	協		147
長崎県	長崎医療センター	基	基連	148
	長崎川棚医療センター	協	連	149
	熊本医療センター	基	基連	150
熊本県	熊本南病院	協	連	151
<b>熊本県</b>	菊池病院	協	連	152
	熊本再春医療センター	協	連	153
	大分医療センター	基	連	154
大分県	別府医療センター	基	基連	155
	西別府病院	協	連	156
	宮崎東病院	協	連	157
宮崎県	都城医療センター	協	連	158
	宮崎病院	協		159
	鹿児島医療センター	基	基連	160
鹿児島県	指宿医療センター	協	連	161
	南九州病院	協	連	162
	沖縄病院	協	連	163
沖縄県	琉球病院	協	基連	164

### 国立病院機構について

### ■国立病院機構の取り組み

平成16年4月に発足した独立行政法人国立病院機構 は、全国140の病院を一つの法人として運営しており、 結核、感染症、がん、循環器病、重症心身障害、筋ジス トロフィー、神経難病などの重要で国民の関心が高い疾 患について、全国的なネットワークを形成して取り組む とともに、地域のニーズにあった医療の提供を目指して います。



### 医療の提供

公益性を尊重した、安心で安全な医療を全国140病院のネットワークで取り組んでいます。

### 医療の質の向上

- 標準的かつ良質な医療に向けた評価と改善
- 多施設での情報の共有
- 地域医療機関との連携
- 地域の質向上のための様々な研修会

### サービスの向上

- 救急医療への積極的参与
- 患者の目線に立った医療
- 全国規模での医療安全対策

### 教育研修制度

国立病院機構では、初期臨床研修の基幹型臨床研修施設 に54施設、協力型臨床研修施設に72施設が指定を受けて おり、各病院のプログラムに基づき、研修医の養成に取 り組んでいます。

平成30年度からは新専門医制度に対応した研修体制を整 え、初期臨床研修からサブスペシャリティ領域までシー ムレスな研修を展開しています。

#### 良質な医師を育てる研修

サブスペ領域 初期臨床研修 専門医と 専門研修 して活躍! 基本領域

NHOフェローシップ

### 臨床研究の推進

国立病院機構のスケールメリット、豊富な症例と 一定の質を確保することが可能という特徴を活 かして、「NHO共同臨床研究」を推進していま す。現在、EBM推進のための大規模臨床研究と NHOネットワーク共同研究の臨床研究を実施し ています。

具体的な実績・詳細については、 国立病院機構本部総合研究センター のホームページをご参照下さい。



### 国立病院機構の概要

1. 設置根拠

独立行政法人国立病院機構法(平成14年法律第191号)に基づく中期目標管理法人

組織の規模

病院数:140病院/病床数:52,241床(令和5年10月時点)

附属看護師等養成所数 看護師課程:31校/助産師課程:3校/リハビリテーション学院:1校(令和5年4月時点)

3. 常勤職員数

約62,000名(医師:約6,000名/看護師:約40,000名/その他:約16,000名)(令和6年1月時点)

### 臨床研修

平成16年4月からすべての医師に義務付けられている臨床研修を、国から指定を受けた臨床研修病院で行うことができます。

ここでは、国立病院機構の地域中核病院の機能を活かして、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的 ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本 的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけるとともに、医師としての人格を涵養します。

## 新専門医制度

国立病院機構(NHO)は、平成30年から開始された新専門医制度に対応するため、早期より検討対策部門を設置し、専門医取得を目指す若手医師が安心して研修ができる環境を整えてきました。例えば、内科領域に関しては受講が必須となるJMECC(Japanese Medical Emergency Care Course)を、基幹を目指す施設においては自前で開催できるように早期より指導者を育成してきました。実際に昨年度までに多くの施設でJMECCを実施しています。

本ガイドブックでは、各施設紹介の中に新専門医制度の研修プログラムの概要を盛り込みましたので、ぜひ参考にしていただき、そして応募をご検討ください。私たちNHOは、志の高い専門医を育成したいと考えています。

#### 新専門医制度における基本領域と専門領域

			領	域	
		消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	血液内科
サ	連動研修を行い得る領域	内分泌代謝・ 糖尿病内科	脳神経内科	腎臓内科	膠原病・ リウマチ内科
ースー		消化器外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
サブスペシ		乳腺外科	放射線診断	放射線治療	
ヤヤ					
ヤリテ			領	域	
アイ	連動研修を行わない領域	アレルギー	感染症	老年科	腫瘍内科
領域		内分泌外科			
7-36					
	少なくとも一つのサブスペ領域を		領	域	
	取得した後に研修を行い得る領域	肝臓内科	消化器内視鏡	内分泌代謝内科	糖尿病内科

┌ 19領域																		$\neg$
内科基本領域	小児科 科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科	

### 新専門医制度におけるNHOの状況 19領域のプログラム数 (令和5年4月時点)

基幹施設数	専門領域
34	内科
4	小児科
1	皮膚科
12	精神科
11	外科
4	整形外科
8	産婦人科
3	眼 科
1	耳鼻咽喉科
1	泌尿器科
0	脳神経外科
2	放射線科
7	麻酔科
1	病 理
0	臨床検査
10	救急科
2	形成外科
1	リハビリテーション
16	総合診療科

◆NHOの48病院が基幹施設として、17領域118プログラムの認定を受けている。

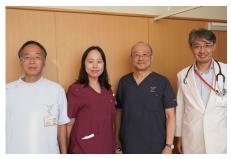
### 若手医師フォーラム(国立病院総合医学会シンポジウム)

国立病院機構(NHO)に所属する若手医師が日常診療の中で取り組んできた症例や研究についての発表の場を広げ、さらに交流の場を設けることでお互いに刺激しあえることを目的に国立病院総合医学会において「若手医師フォーラム」を行っております。英語での抄録を登録、事前に抄録の査読審査を行い、選出された優秀演題の演者が英語発表をすることができます。

更に、座長・ディスカサントにより最優秀演題が選考されます。

(第78回国立病院総合医学会は、令和6年10月18~19日に大阪で開催される予定です。)

第77回 最優秀賞 受賞者



大阪南医療センター 辻井 敦子 (左から2人目)



埼玉病院 樋口 藍 (左側)

### NHOフェローシップ制度

国立病院機構(NHO)の豊富なネットワークを活かし、若手医師が自身のスキルアップや専門医取得を目的として、所属病院とは異なるNHO病院に一定期間留学できる制度です。NHOの医師であれば誰でも、NHO病院であればどこへでも行くことができます。全国規模のスケールメリットを活かしたNHOならではの制度です。存分にご活用ください。



現在、23病院41プログラム(血液内科、腫瘍内科、呼吸器科、アレルギー科、神経内科、脳血管 内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、総合内科、外科、整形外科、呼吸器外科、救命救急 科、産科・婦人科、小児科、眼科、病理診断科)が留学施設として登録されています。 制度利用ご希望の場合は、御所属病院の研修担当責任者へご相談ください。

### 研修医・専攻医のためのコミュニケーション情報誌

研修医・専攻医のためのコミュニケーション情報誌、「NHO NEW WAVE」を年4回(春・夏・秋・冬)発行しています。全国のNHO病院や各地で開催される研修会の情報、海外留学体験記など研修医・専攻医必見の貴重な情報を満載しています。

NHOホームページの「教育研修事業」からも、ご覧いただけます。

#### NHO NEW WAVE Back Number



是非ご一読ください。

NHO NEW WAVE Vol.1 2010 Spring 特集:矢崎義雄×研修医 スペシャル座談会



NHO NEW WAVE Vol.2 2011 New Year 特集: 良質な医師を育てる〜 循環器疾患に関する研修会



NHO NEW WAVE Vol.3 2011 Spring 特集:研修医を終えての 次へのステップ



NHO NEW WAVE Vol.4 2011 Spring 特集:東日本大震災における 医療班活動



NHO NEW WAVE Vol.5 2010 Summer 特集:女性医師の勤務環境 改善をめざして



NHO NEW WAVE Vol.6 2012 New Year 特集:米国研修指導医 招聘プログラム紹介



NHO NEW WAVE Vol.7 2012 Spring 特集:先輩に聞く~



NHO NEW WAVE Vol.8 2012 Summer 特集:NHO国内留学プログラム



NHO NEW WAVE Vol.9 2012 Autumn 特集:明日の命を育む 周産期医療



NHO NEW WAVE Vol.10 2013 New Year 特集:存在意識が高まる 經和ケア



2013 Spring 特集:専修医に聞く〜 後期研修プログラム



NHO NEW WAVE Vol.12 2013 Summer 特集: NHOフェローシップ始動!



NHO NEW WAVE Vol.13 2013 Autumn 特集:救命救急センター (西日本編)



NHO NEW WAVE Vol.14 2013 Winter 特集:若手医師フォーラム



NHO NEW WAVE Vol.15 2014 Spring 特集:良質な医師を育てる研修



NHO NEW WAVE Vol.16 2014 Summer 特集: Now on NHOフェローシップ Vol.3



NHO NEW WAVE Vol.17 2014 Autumn 特集:在宅医療



NHO NEW WAVE Vol.18 2014 Winter 特集:スペシャル座談会 総合診療専門医



NHO NEW WAVE Vol.19 2015 Spring 特集:総合内科



NHO NEW WAVE Vol.20 2015 Summer 特集:放射線治療



NHO NEW WAVE Vol.21 2015 Autumn 特集:小児医療センター設立と 新生児医療



NHO NEW WAVE Vol.22 2015 Winter 特集: 若手医師フォーラム



NHO NEW WAVE Vol.23 2016 Spring 特集: 重症心身障害児(者)医療



NHO NEW WAVE Vol.24 2016 Summer 特集:新専門医制度



NHO NEW WAVE Vol.25 2016 Autumn 特集:新専門医制度と リサーチマインド



NHO NEW WAVE Vol.26 2016 Winter 特集: やさしい医療を担う 「総合診療」



**NHO NEW WAVE Vol.27** 2017 Spring 特集:NHOフェローシップ



NHO NEW WAVE Vol.28 2017 Summer 特集:チーム医療と医療安全

#### **NHO NEW WAVE Back Number**



NHO NEW WAVE Vol.29

2017 Autumn 特集:神経・筋難病の現状と未来



NHO NEW WAVE Vol.30

2017 Winter 特集:地域包括ケア 一地域に根ざした総合診療一



NHO NEW WAVE Vol.31

2018 Spring 特集:精神科領域専門研修



NHO NEW WAVE Vol.32

2018 Summe 特集:小児・育成医療



NHO NEW WAVE Vol.33 2018 Autumn 特集:医療に貢献する ロボット技術



NHO NEW WAVE Vol.34 2018 Winter 特集:若手医師フォーラム



NHO NEW WAVE Vol.35 2019 Spring 特集:総合診療の魅力



2019 Summe 特集: がん治療最前線



NHO NEW WAVE Vol.37

2019 Autumn 特集:国立病院機構の臨床研究



**NHO NEW WAVE Vol.38** 

**2019 Winter** 特集:若手医師フォーラム



2020 S 特集:救急診療



NHO NEW WAVE Vol.40

2020 Summer 特集:NHO NEW WAVE 10年の歩み



NHO NEW WAVE Vol.41

2020 Autumn 特集:NHO専門研修プログラム紹介



NHO NEW WAVE Vol.42

2020 Winter 特集:NHO女性医師の活躍



NHO NEW WAVE Vol.43 2021 Spring 特集:震災とNHO ~東日本大震災から10年、熊本大地震から5年~



NHO NEW WAVE Vol.44 2021 Summer 特集:NHO初期研修プログラム 基幹施設紹介



NHO NEW WAVE Vol.45 2021 Autumn 特集:スペシャルWEB座談会 NHO"COVID-19研修事業"



NHO NEW WAVE Vol.46 2021 Winter 特集:ポストNICUと 重症心身障害医療



NHO NEW WAVE Vol.47 2022 Spring 特集:NHOの救急医療



NHO NEW WAVE Vol.48 キ集:良質な医師を育てる研修



NHO NEW WAVE Vol.49 特集:令和5年度 良質な医師を育てる研修



NHO NEW WAVE Vol.50 



NHO NEW WAVE Vol.51



# 国立病院機構140病院 所在地一覧

北海道医療 ●北海道がん ●帯広 ● 函館

● 旭川医療

兵庫中央

神戸医療

- 基幹型
- 協力型
- 協力施設・その他

